

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 介護キャリア段位普及促進事業費 〈地域医療介護総合確保基金（介護分）〉

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111（内 2595）

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,448 千円（前年度予算額：3,528 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	3,528	0	0	0	0	0	3,528	0	0
要求額	3,448	0	0	0	0	0	3,448	0	0
決定額	3,448	0	0	0	0	0	3,448	0	0

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

急速な高齢化の進展により介護サービスの需要は今後も増加していくことが見込まれており、介護サービスを支える人材の更なる確保が急務となっている。

介護分野は従来から離職（定着）率などの面で課題を有しており、職員の離職理由の一つには介護職員のキャリアアップの仕組みが構築されていないことが挙げられている。

（2）事業内容

介護職員のキャリアアップの仕組みを構築し、資質向上と介護事業所におけるOJTの推進を図るため、介護キャリア段位制度のレベル認定取得に向けた評価の実践を支援するとともに、介護職員の指導にキャリア段位のレベル認定の仕組みを活用することで、計画的に介護職員の能力向上を図り、キャリア段位を活用した人事評価制度の導入を支援するオンラインセミナーを開催する。また、アセッサー講習受講に係る支援を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 2/3 県 1/3 (地域医療介護総合確保基金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,401	オンラインセミナー及び受講支援等実施業務の委託
報償費	32	プロポーザル審査会委員の謝礼金
旅費	15	プロポーザル審査会委員の費用弁償
合計	3,448	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」 2-1 介護人材の確保

(2) 後年度の財政負担

地域医療介護総合基金により、国庫負担 2/3 県負担 1/3

(3) 事業主体及びその妥当性

実施主体：県

県全体の介護技術のベースアップを図るため、県が主体となって事業を行う。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高齢化の進展により質の高い介護サービスの提供が求められており、介護を必要とする方が安心してサービスを受けられるよう、介護サービスを支える人材の確保・定着及び資質の向上を支援する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(人)	(人)		(人)	(人)	
アセッサー 取得人数	202 (H27.12)	661 (H30.8)	778 (H31.8)	856 (R2.8)	945 (R3)	% 89.7
レベル認定 者	13 (H27.12)	119 (H30.8)	194 (H31.8)	244 (R2.8)	310 (R3)	% 78.7

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

株式会社プラドへの委託により、キャリア段位普及促進オンラインセミナーを開催した。アセッサー講習受講費用に対しても助成する。

普及促進オンラインセミナー参加者

参加者：39人

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

セミナー開催により普及促進を図るとともに、アセッサー講習の受講費用に対し助成することにより、アセッサー講習修了者が着実に増えている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	今後急速に進展する高齢化社会において、介護サービスを支える人材の確保と定着及び資質の向上に関する事業は必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	キャリア段位普及促進セミナー及びアセッサー講習受講支援セミナーを開催することにより、アセッサー講習修了者が着実に増えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	セミナー開催のノウハウに優れた事業者への委託とし、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 要支援・要介護認定者の増加が見込まれることにより、更なる取り組みが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、介護人材確保・定着のための取り組みを進める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	